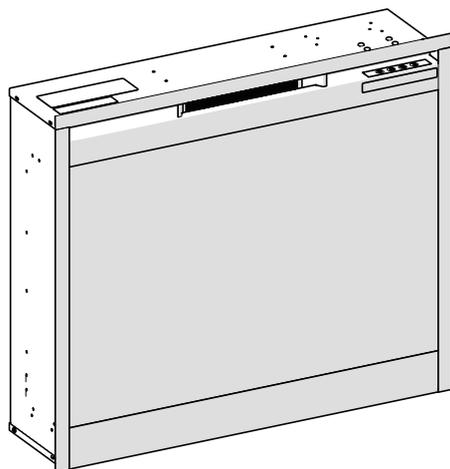


設置取扱説明書

DFR2651LJ



ご使用の前に

ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ正しくお使いください。お読みになった後は、いつでも取り出せる所に大切に保管してください。

もくじ

• 安全上のご注意	1
• 各部名称	4
• 設置の方法	4
• 運転のしかた	6
• お手入れのしかた	8
• 保管のしかた	8
• 故障診断	8
• アフターサービス、仕様	9
• 保証書	11

【安全上のご注意】

- この製品を正しく安全にお使いいただき、危害や損害の発生を未然に防止するための重要な情報です。記載事項(図記号等による表示)を必ずお守りください。
- 注意事項は、誤った取扱いで生じることが想定される危害や損害の大きさと切迫の度合いにより、「警告」「注意」に区分しています。

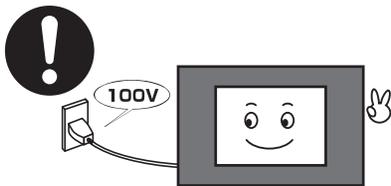
 警告	取扱いを誤った場合、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 注意	取扱いを誤った場合、人が障害を負う可能性および物的損害の発生が想定される内容を示しています。

■図記号の例

 の記号は注意(警告を含む)を促す内容を示しています。(右の図は高温注意)  高温注意	 の記号はしてはいけない内容を示しています。(右の図は分解禁止)  分解禁止	 の記号はしなければならない(強制)内容を示しています。(右の図は電源プラグからコンセントを抜く)  電源プラグをコンセントから抜く
---	---	--

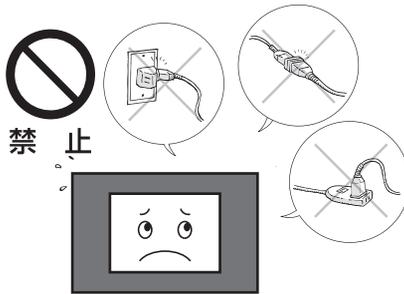
⚠ 警告

- 電源は、100Vの壁のコンセントに電源プラグを直接に差込んでください。



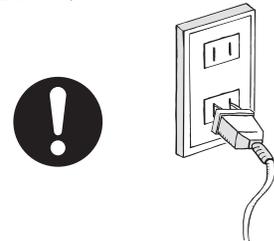
200Vに接続すると、発火の恐れがあります。
また、タイマーや他機器と連動するような配線を行うと、意図しない暖房運転が開始され大変危険です。

- 延長コードやマルチタップは絶対に使用しないでください。



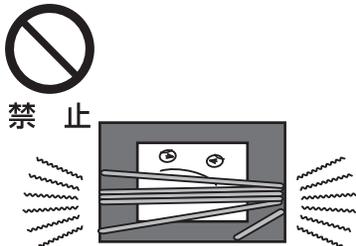
コードやプラグ等が過熱して発火することがあります。

- 電源プラグはコンセントの根元までしっかりと差込んでください。また、差込口のゆるいコンセントは使わないでください。



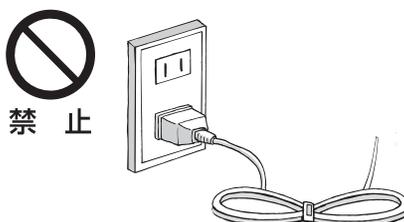
過熱により発火する恐れがあります。

- 電源コードを本体に掛けたり巻きつけたりしないでください。



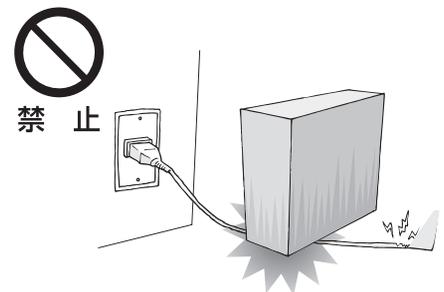
熱でコードが傷み、感電や発火の原因になります。

- コンセントが近くにあってもコードの長さが余っても、絶対に束ねないでください。



コードの放熱ができず、過熱・発火の原因となります。

- コードに重いものを載せたり、傷付けたりしないでください。



発火の原因となります。

- 電源コードが傷付くなどした場合は、直ちに使用を中止して電源プラグをコンセントから抜いて修理を依頼してください。
- また、次のような場合にも、直ちに使用を中止して電源プラグをコンセントから抜いて修理を依頼してください。

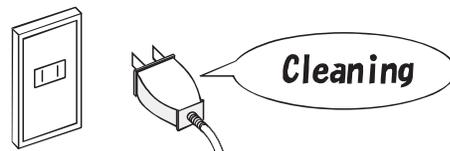


コードやプラグが熱い。コードを動かすと電源が切れる。
(または、電源が入る)



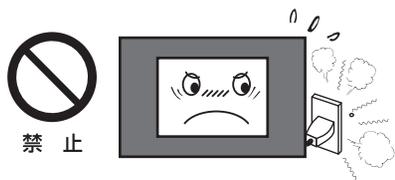
誤った修理を行うと、発火や感電の恐れがあります。また、修理をせずに使用を続けると発火の恐れがあります。

- シーズンオフや長期間使用しない場合には電源プラグをコンセントから抜いてください。また、プラグとコンセントの表面に汚れがあれば除去してください。



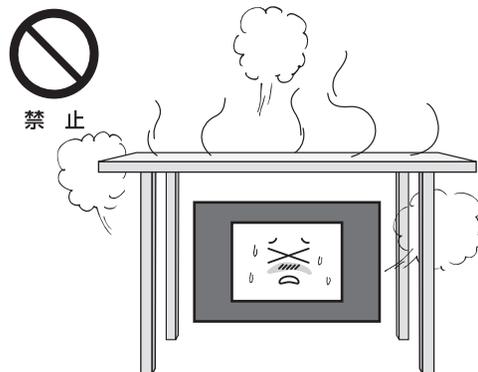
トラッキングによる発火や意図せぬ通電を防止するためです。トラッキングとはプラグの二つの刃の間に汚れ、湿気などによりショートすることです。

- コンセントの位置に注意し、電源ケーブルは無理に曲げたり本体と壁の間に挟めるなど、ケーブルに力が加わらないようにしてください。また、本体上部に温風の吹出口があるため、垂れ下がった電源コードに温風が直接当たらないようにご注意ください。



ケーブル断線などの故障の原因になります。

- 押し入れや机の下など、極端に狭い場所で使用しないでください。



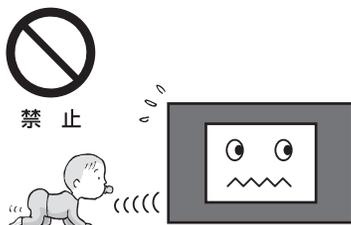
故障や熱変形などの原因になります。

- 吹出口や吸込口を覆ったり、物を置いて通風を妨げたりしないでください。また、布団や洗濯物を掛けしないでください。



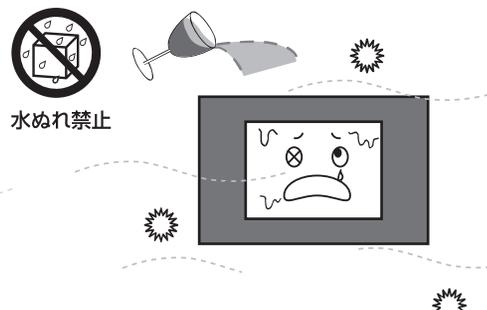
破損や過熱により火災につながる恐れがあります。

- 泥酔などで正常な判断ができない状態の方や操作に不慣れな方は、操作を行わないでください。また、幼児が操作をできない場所に設置ください。必ず操作方法や危険を理解した方が操作してください。



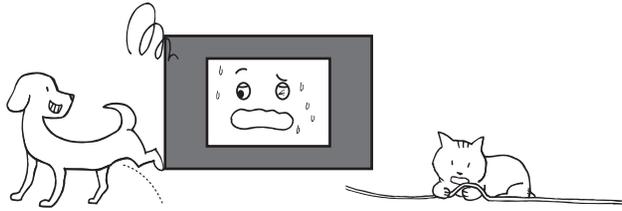
高温のヒーター吹出口に触るとやけどの恐れがあります。

- 水のかかる恐れのある場所や、湿度の高い場所におかないで下さい。また、花瓶など水の入ったものを本体に載せないでください。



水滴の付着や結露により絶縁の劣化をもたらし、感電の原因になります。

■犬・猫など、ペットの暖房用には使用しないでください。



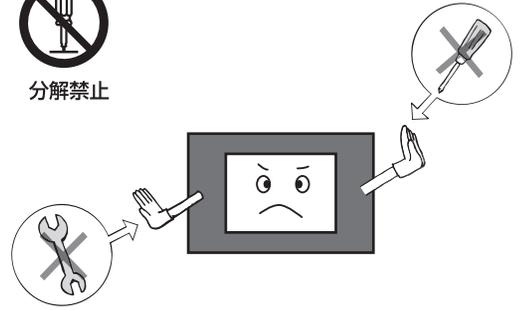
歯や爪で電源コードを傷付けたり、排泄物が絶縁劣化を起こして、発火の原因になります。

■就寝するなど、長時間にわたってヒーターの直前に居ることのないようにしてください。



熱中症や低温ヤケドの恐れがあります。
幼児や泥酔された方には特に注意してください。

■修理技術者以外の方は、分解・修理を行わないでください。



誤った修理を行なうと、発火や感電の恐れがあります。

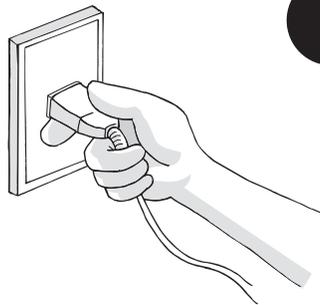
⚠ 注意

■ぬれた手で電源プラグの抜き差しやスイッチの操作を行わないでください。



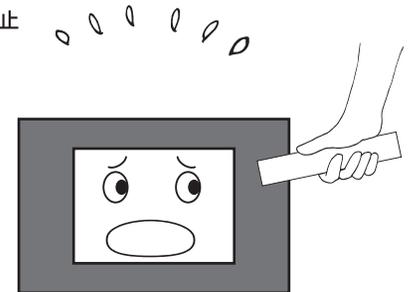
感電の恐れがあります。

■電源コードをコンセントから抜く場合には、必ずプラグを持って抜いてください。



コードを引っ張って抜くと、コードやプラグが傷み、発火する原因となります。

■外装の隙間から、異物を差し込まないでください。



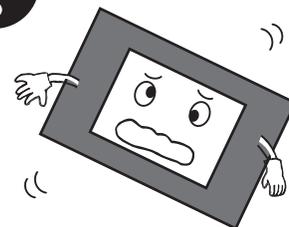
感電や故障の原因となります。

■ヒーターの温風吹出口は高温になります。使用中には手で触れないでください。



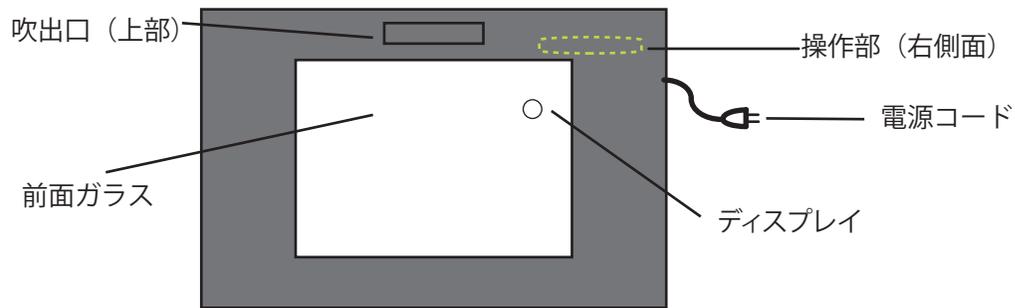
幼児が触らないよう、注意願います。お手入れの際には、十分に冷えるまで触らないでください。

■据付は水平に正しく設置してください。



製品が落下し、ケガをするおそれがあります。横倒しでの使用は行わないでください。

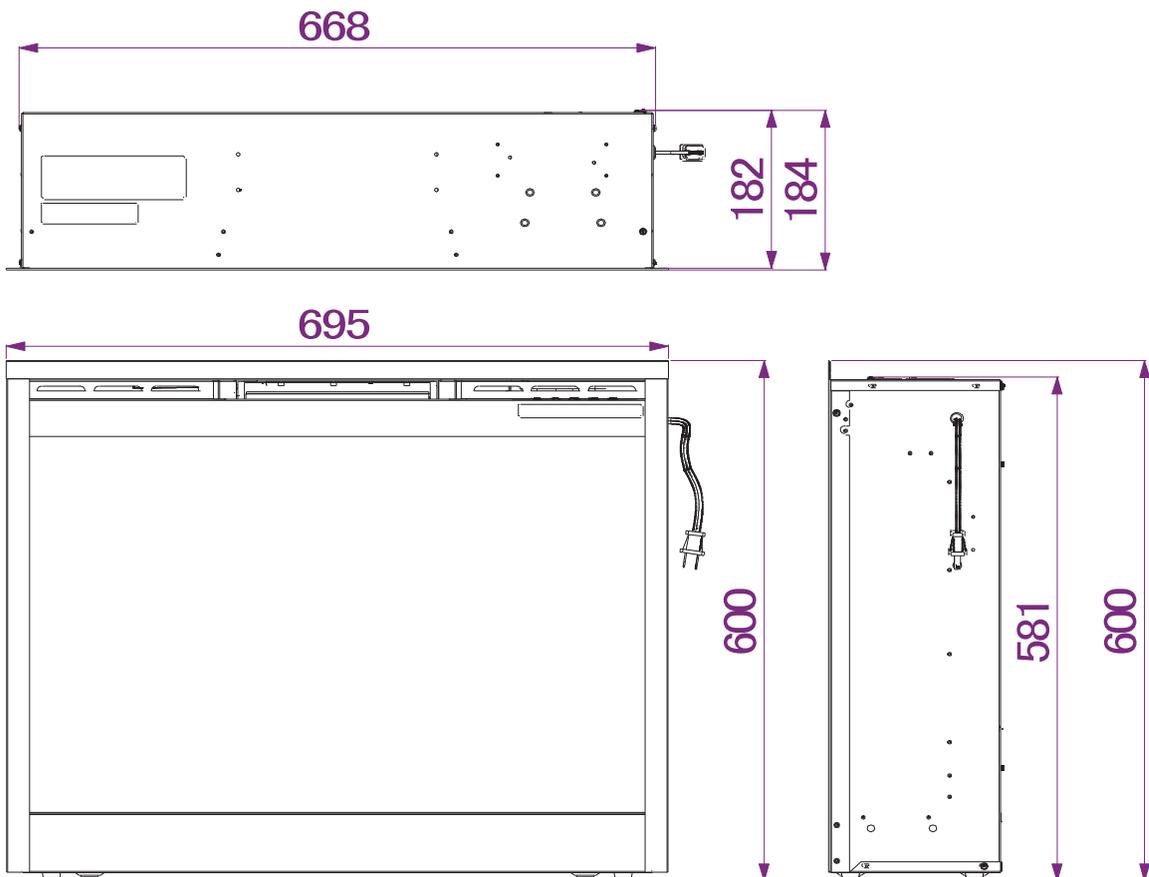
各部名称



設置の方法

設置の方法

- 水平で安定した場所に設置してください。
- 前面には大きなスペースを設けてください。



設置の方法

- 1、安全且つ湿気、埃のない場所に暖炉を設置してください。
- 2、設置を検討している場所に幅686mm、高さ593mm、奥行き191mmの開口部を設け設置して下さい。(図1参照)
- 3、本体付属のプラスチック製の脚を取り付けて下さい。脚の部分の空間はヒーター用のファンの空気対流スペースとなります。(図2参照)

図 1

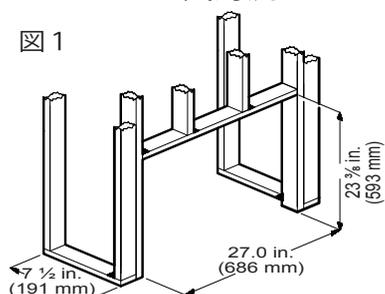
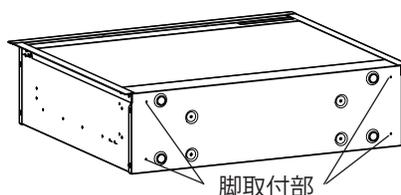
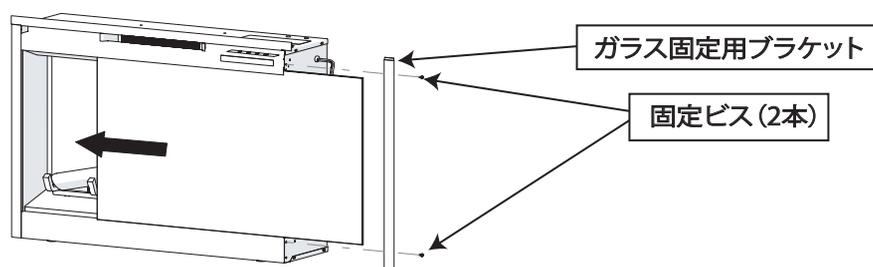


図 2



4、ガラスの取付

- ① 固定ビスを2本取り外しガラス固定用ブラケットを本体側面より外して下さい。
- ② 上下部分にあるガラス用のレールにガラスを設置し奥まで差し込んで下さい。
- ③ ①で取り外したガラス固定用ブラケットを固定ビスを用いて取り付けて下さい。

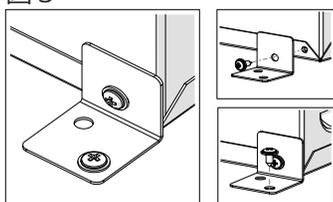


5、電源の接続方法

- ① 15A、100Vのコンセントを設置して下さい。
 - ② 本体背面部の電源コードを壁面のコンセントに差し込んで下さい。
- ※注意：電気暖炉専用の15A、100Vの電源回路を設けることをお勧めします。同回路に他の電気機器を使用すると、ブレーカーが落ちたり、コードやプラグが発熱して発火する恐れがあります。

- 6、本体を開口部に設置し、付属のL型金具にて本体を固定して下さい。(図3参照)

図 3



⚠ 注意



取り付け後は必ず安全性を確認する。

定期的に転倒の可能性がないか安全点検を実施して下さい。取り付け箇所、取り付け方法の不備による事故等の責任は、一切負いかねますのでご了承ください。



水回りでの使用について。

本製品は防水処理がほどこされていない為、水回りでの使用は感電等の恐れがあるため注意して下さい。



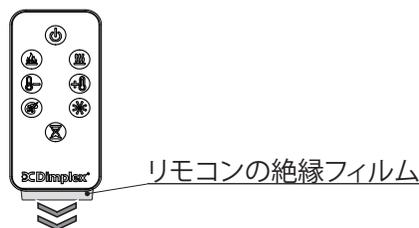
設置に場所について。

毛の長いカーペットや絨毯の上などへは設置しないでください。

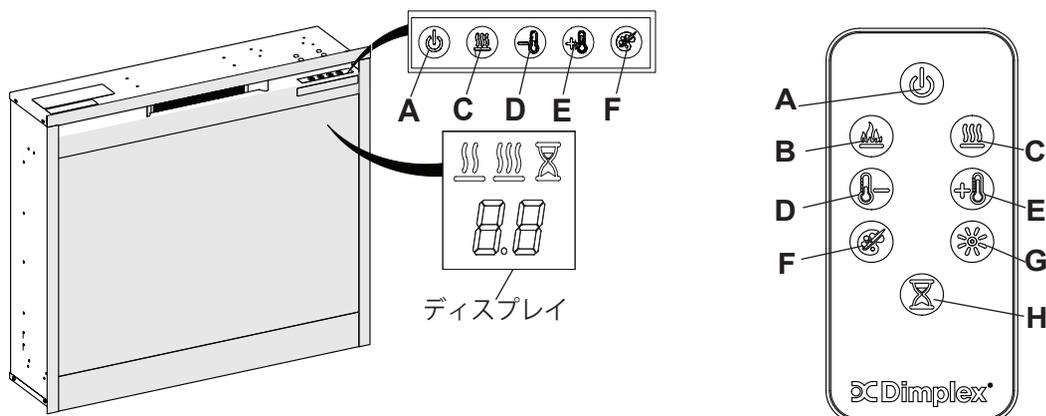
運転のしかた

運転前の準備

本体：電源コードを100Vコンセントに挿してください。
リモコン：リモコンの絶縁フィルムを抜いてください。



各部名称及び機能



※リモコンは、本体から5m以内でご使用ください。またリモコンでの操作をする場合は本体のディスプレイ部に向けて操作して下さい。

※操作を正しく認識させるために、ボタンは2秒間に1回程度で操作してください。

■各アイコンの機能

	アイコン	機能	内容								
A		スタンバイボタン	スタンバイ状態から運転を開始する際に押してください。また運転中にこのボタンを押すとスタンバイ状態となります。 運転を再開する際は、スタンバイ状態の前の状態で運転を再開します。 スタンバイ状態から運転を開始すると、5秒間室温がディスプレイに表示されます。 ※電源プラグを抜くなどで電源供給がされない状態となると、工場出荷時の設定にリセットされます。								
B		炎効果 入/切	炎効果を開始する際に押してください。炎効果運転中にこのボタンを押すと炎効果の運転を停止します。炎効果の運転を停止しても、ヒーターが運転中の場合は、ディスプレイ部に、室温設定とヒーターの運転モードが表示されます。								
C		暖房運転切替	暖房運転を弱⇒強⇒暖房停止の順で切り替えます。 <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td>ディスプレイ部の表示</td> <td></td> <td></td> <td>-(表示なし)</td> </tr> <tr> <td>暖房運転状態</td> <td>暖房弱運転</td> <td>暖房強運転</td> <td>暖房運転停止</td> </tr> </table> ※暖房運転停止後は、ヒーター部の温度を下げるために60秒程度、自動的に送風運転を行ってからファンが停止します。	ディスプレイ部の表示			-(表示なし)	暖房運転状態	暖房弱運転	暖房強運転	暖房運転停止
ディスプレイ部の表示			-(表示なし)								
暖房運転状態	暖房弱運転	暖房強運転	暖房運転停止								

運転のしかた

■各アイコンの機能(つづき)

	アイコン	機能	内容
D E	 	温度設定 ボタン	<p>温度の設定を行います。室温が設定した温度に達すると暖房は自動停止します。ディスプレイにて設定温度を確認ください。 設定温度を維持する為に暖房は運転と停止を繰り返します。</p> <p>※初期設定は22℃に設定されています。</p> <p>※  ボタンを押しながら  ボタンを押すことで℃(摂氏表示)F(華氏表示)の切り替えができます。</p> <p>※本体側の  +  ボタンを同時に2秒以上押し続けると暖房機能を停止することができます。暖房オフシーズン等の暖房が必要がない場合ご使用下さい。 再度暖房機能をオンにするにはもう一度  +  ボタンを押して下さい。 暖房機能を停止している際に  ボタンか  ボタンを押すとディスプレイに " _ _ " が表示されます。</p>
F		LED照明 色変更	バックライトの色を変更します。ボタンを押すごとに色が変化し6色の色を循環させることもできます。色が循環している際に  ボタンを押すことで好みの色で設定できます。
G		明るさの調整	ボタンを押すことで、炎効果の明るさを調整します。 明るさが「高」の場合はディスプレイにHと表示されます。 明るさが「低」の場合はディスプレイにLと表示されます。
H		タイマー運転	ボタンを複数回押すごとに、0.5時間～8時間のタイマー運転を設定できます。 タイマーの残時間を確認するためには、タイマーボタンを1回押してください。 タイマー運転を解除する時は、ディスプレイのタイマー表示がされなくなるまで、タイマーボタンを押し続けてください。

お手入れのしかた

安全で快適にご使用いただくために、定期的にお手入れをしてください。

- ① 柔らかな布に水を含ませ、硬く絞ってから拭いて下さい。汚れがとれないときには薄めた中性洗剤を使用して下さい。クレンザー・シンナー等は表面を傷つけますので使用しないで下さい。
- ② 操作部や内部には絶対に水がつかないように注意して下さい。
電源コードにキズや熱くなる部分がないかを確認し、異常があれば交換を依頼して下さい。
特に、電源プラグの付け根および本体からの出口部は、しっかりと確認して下さい。
- ③ ヒーターをご使用される期間については2週間に1度程度、本体上部の温風吹き出し口のホコリを掃除機で吸い取って下さい。

保管のしかた

- ① 長期間使用しない場合は、電源プラグをコンセントから抜いて下さい。
- ② ホコリの少ない乾燥した場所で保管して下さい。

故障診断

症状	点検・原因	処置
電源が入らない。	電源プラグの外れ	正しく差しこむ。
	ブレーカーの落ち	原因を調べてから復旧させる。
	過熱防止装置の作動	電源コードを抜き、本体が一度冷めてから、もう一度操作する。
擬似炎が暗い、小さい、点灯しない	基板の故障	販売店もしくは弊社へご連絡ください。
操作部扉や扉内のスイッチ周辺が熱い。暖房運転が時々止まる。	吸込口が障害物等で塞がれている。	通風をよくする。
	吹出口に物が置かれている。	物を移動させる。
	吸込口・吹出口に多量の綿埃等が付着している。	掃除する。
異音がする。	擬似炎メカのギアモーター音がしますが異常ではありません。 送風機の音がしますが異常ではありません。	通常より大きな音・異質な音がする場合には、点検を依頼する。
電源プラグが熱い。電源コードが熱い。 電源コードを動かすと電源が切れる。	プラグの異常	電源コードの交換
	コードの半断線	電源コードの交換
ヒーターに通電するとブレーカーが働く。	ブレーカー容量以上の機器が接続されている。	接続機器を減らす。
リモコンが作動しない。	電池が切れている。	電池の交換 (CR2025 ボタン電池)

上記のことを調べても原因がわからない場合には、販売店または弊社へご連絡ください。
電源コードが破損した場合の交換は、安全のために弊社「お客様相談窓口」もしくは販売店へお問合せください。
不適切な処理は、発火の原因となります。

アフターサービス

1. 使用中に異常が生じた場合には、直ちにスイッチを切り、電源プラグを抜いてお買い上げの販売店または弊社へご相談ください。
2. 保証期間内の修理については、保証書に基き、無料でおこないます。
3. 保証期間経過後の修理については、修理により機能が維持できる場合にはお客様の要望により有料で修理いたします。
4. この製品の補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）の保有期間は、製造打ち切り後6年です。
5. 販売店または弊社へご相談される場合には、下記の内容をご連絡ください。
 - ①製品名、品番
 - ②症状
 - ③お買上年月日
 - ④お客様名、ご住所、電話番号

お客様相談窓口



TEL 0120-583-570 FAX 011-783-7747

株式会社ディンプレックス・ジャパン [受付時間：平日9：00～17：00]

ホームページ <http://dimplex.jp/>

ご相談窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて

(株)ディンプレックス・ジャパンは、お客様よりお知らせいただいたお客様の氏名・住所などの個人情報（以下「個人情報」）を下記のとおり、お取り扱いします。

- ①お客様の個人情報を、本商品のご相談への対応や修理およびその確認などに利用させていただき、これらの目的のためにご相談内容の記録を残すことがあります。なお、修理やその確認業務を協力会社に委託する場合、法令に基づく義務の履行または権限の行使のために必要な場合、その他正当な理由がある場合を除き、第三者に個人情報を開示・提供しません。
- ②お客様の個人情報を、適切に管理します。
- ③お客様の個人情報に関するお問合せは、ご相談いただきましたご相談窓口にご連絡ください。

仕様

製品名	電気暖炉 Symphony-26"
型番	DFR2651LJ
暖房目安	約2.5畳（木造住宅）～約7畳（コンクリート住宅）
電源	100V 50/60Hz
消費電力	1140W 雰囲気温度0℃時
外形寸法	幅695mm×高600mm×奥行184mm
製品質量	17.5kg
送風機	クロスフローファン
安全装置	過昇温度防止装置

※暖房目安は、(社)日本電機工業会自主基準により算出しております。

メ 毛